

爆撃機一機をつくるには約二百トンの石炭がいる。輸送機一機をつくるには約三萬トンの石炭がいる。炭礦では採炭に死にもぐるが、戦力をぐんぐん強めるにはまだ石炭が足りない。それぢや、その石炭は全國民で掘らうとてその秘法は――

各家庭で毎月三十アットの電燈を一時閉づ、節約すれば全國で月に約二萬トン

各家庭で毎月新聞紙四分に相當する紙を節約すれば全國で月に約一萬トン

各家庭で年に反物一反に相當する衣料を節約すれば全國で月に約一萬トン

各家庭で月に約一萬トンの石炭を掘つてゐるこゝになるのだ

### 我が家の節電法

高市郡高市村 一婦人會員

大東亞戦争が北へ南へ益々擴大されて千島の海に亦ラババルの空に激しい反抗を聞きまします時、私達もつとして居られない氣持で一杯です。況して皇國將兵が力の限り戦ひ抜いて最後に叫ばれる言葉が「一機でも多く、艦でも多く来れ」と叫んで國の神となり給ふと新聞やラヂオに聞く間、銃後の私達には一機でも多くラババルの空に亦北海の明の日本を建設するに、一機でも多く任務であるが、直接第 一線の生産に従事出来ない、私達農家の婦人はそれ等生産高をたかめる一番根柢の電力を節約するのがせめての御奉公だと思ひます。私は農村で生活し且つ亦農業に従事してゐるため草深い田舎の事ではカスもなければ又電熱を使用するものはアイロンでです。取り立てる程の事も御座居ませんが、田舎のいへ電線の通るメリトルをこり付けてあります。何時も検針に来てくれる電燈は定められたキログワット時がつくか時たま超過する時もあるので之ではいけないと思つて節電の方法を考へました。

1、平均三十燭光の電球を二燭光に全部取替へる

「イ」直機三十から二にすれば省いやがる故一週間程十六燭光にして、なれた頃亦十燭光にして現在では二燭にも省なれる事が出来ました。

「ロ」但し客間に於て餘り暗くても客に不愉快を與へるので十燭光、寢所にて田舎の事では場所が廣くて調理場、茶の間が一しよですから十六燭光

- 2、夕食後家族にて一部屋に集り他の部屋にて全部消燈
- 「イ」茶の間は十六燭光である上に部屋としては一番明るい部屋なので家族全部茶の間に集合、小さな子供がない故針仕事、勉強等も同一の部屋結果として一家和樂のこゝになつて一石二鳥の結果を得ました。
- 3、電球と燈は隔日に拭掃除をする
- 4、電燈をきれいに消す事
- 「イ」今までの習慣では用事の後つけ忘れをしてゐるもので用を済ませて部屋を出ると同時消燈……消燈を忘れたものは罪として十銭貯金を實行、此の頃は殆ど貯金も積まなくなつて喜んで居ります。
- 5、夜寝る時全部消灯、朝は電線と切り替への時消燈
- 6、電熱を使用するアイロンは初めから電熱を使用すれば、倍の電熱を使用するので、アイロンの必要な時あらかじめアイロンを火鉢へおせて置いてアイロンが暖まつた頃電氣をつなぐ。
- 「イ」成るべくアイロンを使用しないで鏡を使つて居ります。アイロンの必要もないはずが用でない限り「洗濯もの等」ため置いて一度に使用、うすいものは後廻しにして餘熱を充分利用。
- 7、笠は幅が廣くて餘り光の方々へもれないもの。その上が我が家の節電法で取立て、發表する程の事も御座居ませしが湯水期を控へて節電を叫ばれる折、況して今日の一體が明日の十機に償ふと聞いてはたつとしておられない氣持から拙いペンをさらせて頂きました。
- 電燈暗ければ國明のしる標語に答へ一秒でも節電したいと思ひます。
- 直我が家の節電が威力乍らも實行される様になつた今日、さかた大御殿に勝ち抜きたいと念願して居ります。

### 「享樂部面の停止」

本年三月五日より益々全國の料理屋・待合・藝妓・酌人の全部に對して休廢業を斷行された。

之は高級なる國民的享樂面への絕對禁止である。決戦態勢下では云ひ乍ら可憐なる藝酌人や小資本の之等營業者に對する犠牲は餘りにも大きいと云へ國家の危急存亡には代へられない。

此の秋此の際國民一人一と雖も戦力増強や國土防衛の事任捨て、物見遊山に耽るが如き事は片時も許されぬ。既に目前に迫つた決戦の一時である、何をしておいても頑張り抜こうではないか。

### 森尻月報附録

川井富藏 編纂 奈縣地方課

# 大和の隣組

## 滅敵の陣鼓

大政翼賛會奈良縣支部  
奈良縣翼賛壯年團本部

大東亞戦争も益々決戦段階に入り仔細に現戦局を監視するに 皇國の周邊悉くが正にこれ一決戦戰場である

敵米國大統領ルーズベルトは「日本帝國を永遠に抹殺するこゝが米國の戦争目的だ」と豪語して傲慢不遜にも今日を以て東亞民族を永久に奴隸化するに又もなき好機なりと妄信して「日本に時を藉すな」と呼號して物量を持って今や遮二無二の反攻を試みつゝあるのである。即ち二月一日敵はマーシャル群島のクエゼリンルオット兩島に爆撃艦隊射撃の掩護の下に大兵團を上陸せしめ、續いて敵の機動部隊は二月十七日トラツク島を同二十三日マリアナ群島の一部を爆撃した、就中クエゼリン・ルオット兩島の皇軍將士四千五百軍屬二千が二月六日最後の突撃を敢行日本男子の血汐を以て珊瑚礁の白砂を赤く染めなして全員壯烈なる戦死を遂げたる旨の大本營發表を悲憤の涙の中に聞いたのは

記憶尙新なる所である。北千島はさうか、アツツミカムチャツカの間の天候さへ良ければ必ず敵機が來襲する、一月には十六回、二月には十三回の空襲を受けてゐる。更に大陸は如何、敵の飛行機も現在四百機に近く月々一萬機の物資を印度より支那に空輸しつゝあるの現状である。

印緬國境では先にブチドン附近に於て英印軍第七師團が、其機先を制して攻撃したる我軍の爲に七千の遺棄屍體を出し殆ん全滅の大打撃を蒙りながらも猶一干機に近き航空機三十數箇師團の部隊を國境に配して奮動を續けてゐるのである。

眼を太平洋方面に向けんか、ラバウル・トロキナ・ニューギニアも依然として日毎に激闘が繰り返されつゝあるの現状で日本に「時」を藉しては大變だも云ふべからぬの現狀で遮二無二の總反攻は最近に至つて其規模も大きく速度も増し次第に其激しさを加へつゝあるのである。即ち戦は真正に決戦の時も云ふべく而も胸つき八丁三云ふ難所を上りつゝあるのである、此の勝利への難關を突破すべく今こそ一億國民は三千年の歴史も傳統に基く熾烈なる忠誠奉公の精神を熱鐵の如く昂揚し愈々學國一致の鞏固なる團結の下に勇氣凛々職分奉公の誠を效し百難到るも之に屈せず戦局一部を推移に一喜一憂するこゝなく我が必勝の武略態勢を克く認識し愈々必勝の信念を堅持し最後の瞬間まで勝ち抜く闘志を堅持せねばならぬ。

### 回覧

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

### ボロに動員令

愈々ボロに米英撃滅になつてはならぬものと成りました。それは第一線に於ける將兵の最も重要とする兵器や爆彈を造る機械の入手をするに役立つ大切な資材であるからです。ごれ程これが必要缺くべからざるものであるかば戦線の偽はらざる叫びであります。

それで近く縣民の皆様から破古着、破浴衣、破シャツ、古靴下、古足袋、古手拭、古雑巾、其他どんな布きれても又スフでもよろしいから御出しを願ふことになつたのです。御出しを願ふのに便利な様に縣では大日本婦人會奈良縣支部と共に協力してこれを實施することになつたのです。尤も大日本婦人會の市町村の各班毎に於て行ひ班長さん以下の役員の方々に各戸からお蒐めを願ふことなるのです。

このボロの代金の支拂は種々の關係上集荷所毎に買上げその代金額より回收に要りました費用を除き残部を大日本婦人會縣支部に御渡しの事です。

こんなボロは皆様の家庭では何處にでもあると思ひますし又あまり重要視されてゐない様ですがこれが大東亞決戦に大いなる役目を果たすことになるのですからお互に戦線の將兵の氣持になつて出来る限り多くのボロを供出下さる様御願ひいたします

### 表彰

本年二月十一日紀元節の佳節に際し自治振興中央會より左記優良部落會、町内會及同會會長役員員の表彰ありたり

吉野郡宗僧村 川岸部落會  
磯城郡田原本町 旭町町内會  
宇陀郡榛原町山邊三部落會 新 信太郎  
高市郡八木町西本町町内會 秋山 松太郎  
生駒郡片桐村西部部落會副會長 吉川 一義

因に右表彰状賞品等の傳達式は本廳に到着の上舉行す



# 「戦ひぬく生活へ」

決戦非常措置が決せられました。一億國民は今こそ生活の一切を擧げて戦力増強に邁進し、一丸となつて仇敵米英撃潰に邁進せねばなりません、私達は今までの生活に一層の反省を加へて、戦ひぬく生活を力強く打ち建てよう。

## 一、一人残らず増産に挺身すること。

今こそ一億のすべてが全生命を打こんで増産戦に戦ひぬかねばならぬ時です。一人のなまけ者があつてもなりません。女子もこの際一段奮起して、まだ挺身隊に入らぬものは一刻も早く加入し進んで重要な軍需工場などで働かせよう。

## ロ、襲空への不慮の準備を整へること。

不慮の襲空に對して常に萬全の備へを怠つてはなりません。また都市から疎開して行く人には心から親切をつくし、荷造りに必要なものを提供したり運搬の手助けもしませう。疎開區域外にある人は進んで重要都市に住んでゐる縁故者や老人、子供を初め保護を要する人なごを引取り、また疎開して来る人に對しては、住居や職業の斡旋なご温い思ひやりでお世話しませう。

## ハ、私事の旅行は一切やめること。

鐵道はじめ輸送機關はすべてを擧げて戦力増強のための重要な物資や生活必需品の大増産をせねばなりません。このため旅客列車はぐつみ減り、いろいろな乗車制限がされ、應召や入營、應徴を初め通勤、通學なご本當に已を得ない旅行以外は乗車が困難になります。遊覽や買出しなごは勿論、訪問や面會なごの私事の旅行はこの際絶対にやめねばなりません。

## ニ、空地は一寸も餘さず増産に役立てること。

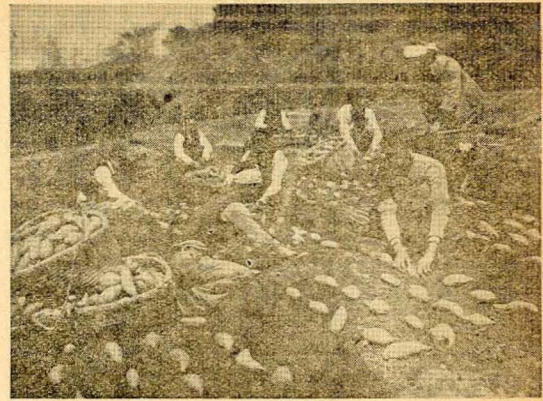
都會地では空地や庭園、道路わきなごあらゆる空地を利用し、或は箱造りを工夫して甘藷、南瓜、蔬菜なごを作付けし特に南瓜は軒先き、屋根、庭なごも利用せねばなりません。農村ではこの外河川の敷地、土手なごあらゆる空地を利用し大豆、蕎麥、玉蜀黍その他の雜穀類を始め胡麻なごの油料の作物や甘藷、南瓜なごをさしし作付けせねばなりません。

この外航空機になくはならぬ潤滑油を作るため蓖麻を大いに栽培せねばなりません。種子は各家庭に配布されますから（配布のない場合は翼會の市町村支部に申込む）空地利用の食糧増産にらみ合せて適當な場所を選び昨年の倍以上を是非とも栽培しませう。

## ホ、生活を徹底的に簡素にすること。

私達の日常生活を眞に實質本位の簡素なものにしてこそ、そこに力強く明るい「戦ひぬく生活」が生まれます。先づ從來の食生活の習慣にまらはらず食糧を完全に活用する工夫をせませう。また衣類や家具なごは手持のものを更生し、不要なものを出るだけお互に融通し合ひ、物の死蔵をなくしませう。

# 四月の常會徹底事項



縣特設育苗圃各種伏込状況

## 甘藷育苗完遂運動實施

一、趣旨  
決戦下食糧自給體制ノ確立上緊要ナル甘藷ノ増産ニハ良苗ノ供給確保ガ絶対要件ナルヲ以テ此際所要ノ育苗ヲ完遂シ以テ甘藷ノ飛躍的増産ノ達成ヲ期セントス

### 二、完遂事項

- (イ) 温床育苗ヲ設置スルコト
- (ロ) 苗床面積ハ段當四坪ヲ確保スルコト
- (ハ) 種藷ハ五〇分の一五〇分ノ大藷ヲ使用スル事
- (ニ) 種藷ハ健全ナルモノヲ選ビ攝氏四七度ノ温湯ニ四〇分間浸漬消毒スルコト
- (ホ) 伏込間隔ハ早生四十日ハ一尺平方ニ一個其他ノ品種ハ二尺平方ニ一個トスルコト

- (ヘ) 伏込ノ床温ハ攝氏三〇度乃至三五度トシ温熱過冷ナラシメザルコト
- (ト) 發芽後ノ温床管理ヲ周到ニシ健全苗ノ育成ニ努ムルコト
- (チ) 採苗ハ切取り行ヒ長サ一尺節數一〇節目方五匁以上トスルコト
- 三、一齊運動ノ實施  
種藷ノ温湯浸漬並ニ伏込 三月十一日—四月十日  
四、實行方法  
部落實行組合ニ於テ爲スベキ事項  
(イ) 苗床面積ノ確保  
苗床割當面積ヲ確保スル爲個人及協同經營團體ニ苗床面積ヲ甘藷生産者ニ割當テ之ガ絶対確保ヲ圖ラシムルコト  
尙諸伏完了期日ヲ限定シ適期育苗ヲ勵行セシメ其ノ期限直後成績ヲ検査シ地方事務所及農業會支部ニ報告スルコト  
(ロ) 苗床準備一齊週間ノ設定並ニ實踐  
苗床設置準備期間中一齊週間ヲ設定シ醜熱材料トシテ落葉刈草等ノ蒐集、床上ノ調整、木框、油障子等ノ材料ノ準備、修繕等、苗床ノ準備ヲ完了シ青年團婦人會、學童等ノ協力ヲ求メテ苗床設置ニ遺憾ナキヲ期スルコト  
(ハ) 種藷ノ温湯處理ニ關スル一齊週間ノ設定並ニ實踐  
種藷ノ温湯浸漬並ニ伏込期間中一齊週間ヲ設定シ甘藷黒斑病ノ防除並ニ萌芽ヲ整一ナラシムル爲諸伏伏期日ヲ決定シ特ニ左ノ事項ニ付豫メ準備セシメ其ノ効果ノ萬全ヲ期スルコト  
(イ) 温湯處理講習會ノ開催  
(ロ) 温湯處理責任指導員ノ設置  
(ハ) 風呂桶、寒暖計、竈、燃料等所要資材ノ準備  
成績検査ノ實施  
苗床ノ準備、種藷温湯處理ニ付キテハ巡回指導並ニ検査ヲ行ヒ其ノ勵行ヲ圖ルコト

## 都市疎開に協力しませう

警 防 課

戦局は愈々重大です、敵は既に「マーシャル」に迫り、我が本土空襲を目標して必死の反攻を續けて居ります。殊に敵の飛行機や爆彈の向上し無差別爆撃等を考へ政府に於ては曩に防空法を改正し都市疎開を着々實施に移されて居るのであります。

- (一) 重要施設附近の建物を取り除いて空地を作つたり（建築物疎開）
  - (二) 學校、會社、工場等の施設を市外に移したり（施設疎開）
  - (三) 市内に居住しなくてもよい人に地方轉出をさせたり（人員疎開）
- して強力な防空都市にせられる譯であります。
- 疎開區域として決められたのは  
東京都區部、横濱市、大阪市、神戸市、尼崎市、名古屋市、門司市、小倉市、戸畑市、若松市、八幡市等でありませう

本縣は斯うして國家戦力の増強に寄與して永年住んで居た家なり土地を訣別して轉出して来る者を受入れるのであります

疎開者は「疎開地方轉出證明書」を所持して居りますから之等に付ては

- (一) 荷物輸送の手傳
- (二) 住宅の斡旋
- (三) 移轉の手續
- (四) 轉就職
- (五) 轉入學

等の便宜供與を爲し凡ゆる不利不便を忍び疎開する戰士に温い護護の手を差しのべ感謝を以て迎へましよう